

授業科目名	幼児体育	担当教員名	安井 嘉佑
必修/選択	必修	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-領域に関する専門的事項(附則第7項) 健康 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表2)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。
授業の概要及び全体目標	幼児期における体育あそび、特に表現あそび及びリズムあそびの必要性・重要性を認識する。基本ステップをマスターし自由に動ける身体をつくる。表現あそびの楽しさを味わい、いろいろなリズムあそびを実践する。グループで手あそび・リズム体操・リズム楽器を創作、体験することで学びを深め、理解する。		
到達目標	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 (2)保育内容の指導方法と保育の構想；幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 ①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。		
テキスト	使用しない(自作プリント配付)		
参考書・参考資料等			
成績評価の方法	平常点(参加意欲、授業態度)…30% 実技発表…60% 指導案…10%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	○授業内容について…幼児体育の基本及び領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児の表現の姿と関連付けることを通して理解する。 ○幼児の体育・表現あそび、リズムあそびの必要性伝達、体ほくし	(1)-①	
第2回	幼児の体育・表現あそび、リズムあそび 基本の動き ①歩く…いろいろな歩き方を実践・習得する。	(1)-①,②	
第3回	幼児の体育・表現あそび、リズムあそび 基本の動き ②走る…いろいろな走り方を実践・習得する。	(1)-①,②	
第4回	幼児の体育・表現あそび、リズムあそび 基本の動き ③とぶ…いろいろなとび方を実践・習得する。	(1)-①,②	
第5回	音・歌あそびを「学び」の視点から捉える。簡単な楽器を用いて、幼児の発達に即したリズムあそびの展開例を考える。わらべうたや手あそびを体験することを通し、音楽的な「学び」について考える。【指・手あそび・歌あそびの体験】	(2)-③	
第6回	手あそび、表現・歌あそびを考察する。	(2)-①,②,③	
第7回	手あそび、表現・歌あそびを相互体験し、学びを深める。表現を振り返る①	(2)-①,②,③	
第8回	手あそび、表現・歌あそびを相互体験し、学びを深める。表現を振り返る②	(2)-①,②,③	
第9回	手あそび、表現・歌あそびを相互体験し、学びを深める。表現を振り返る③	(2)-①,②,③	
第10回	表現あそび・リズム体操の紹介、重要性の伝達 リズム楽器作成(身近な音の出るものを使って)・リズム体操の創作(グループ作成)	(2)-①,②,③	
第11回	リズム楽器を使ったリズム体操の創作、グループ練習①	(2)-①,②,③	
第12回	リズム楽器を使ったリズム体操の創作、グループ練習②	(2)-①,②,③	
第13回	表現発表…他者の表現に共感し学び合う。 全授業を通じて学習内容や気づきを振り返る。	(2)-③	
第14回	表現発表…他者の表現に共感し学び合う。 全授業を通じて学習内容や気づきを振り返る。	(2)-③	
第15回	表現発表…他者の表現に共感し学び合う。 全授業を通じて学習内容や気づきを振り返る。	(2)-③	
定期試験	定期試験は実施しない		